

【資料提供】

| 月 日 (曜日)    | 担当課 (室)   | 電話                               | 担当者       |
|-------------|-----------|----------------------------------|-----------|
| 11月 1 日 (火) | 徳島県立近代美術館 | 088-668-1088<br>fax:088-668-7198 | 江川佳秀 安達一樹 |

「所蔵作品展 徳島のコレクション 2022年度第3期」の開催について

1 趣旨

今回の所蔵作品展では、収集方針に合わせて「20世紀の人間像」「徳島ゆかりの美術」「現代版画」の3つのコーナーを設けます。

「20世紀の人間像」では、1970年代・80年代を中心に、戦後日本のアートシーンを彩ってきた作家たちの作品を御紹介します。また、小コーナー「高崎剛がいたパリ」を設け、初公開となる高崎剛〈窓辺の金魚鉢と娘(仮題)〉と、高崎と同時代のパリに暮らしたパスキンやクレイ、パブロ・ガルガーリョらの作品を御紹介します。高崎剛は1902(明治35)年東京に生まれ、1924(大正13)年パリに渡りました。独創的な画風で将来を嘱望されましたが、1932(昭和7)年パリで病死しました。現存を確認できる作品はきわめて少なく、国内の美術館に収蔵された作品は本作品が3点目です。令和2年3月に寄贈を受け、その後修復作業を進めていました。

「徳島ゆかりの美術」では、徳島にゆかりがある画家たちが手がけた図書、雑誌の表紙絵や挿絵、ポスター、絵はがき等の仕事を御紹介します。画家たちにとっては本来の仕事でないだけに、自由で様々な工夫を見ることができます。画家たちの隠された力量が現れた仕事です。

「現代版画」では、全面的な展示替えを行いながら、池田満寿夫、小作青史、清塚紀子、島州一の作品を個展形式で御紹介します。

2 会期：令和4年11月12日(土)～令和5年4月9日(日)

3 会場：徳島県立近代美術館 展示室1・2、屋外展示場、美術館ロビーほか

4 主催：徳島県立近代美術館

5 開館時間：9時30分～17時

6 休館日：毎週月曜日(1月9日を除く)、年末年始(12月29日～令和5年1月4日)

7 観覧料：一般 200円 [160円] / 高・大生 100円 [80円] / 小・中生 50円 [40円]

[ ] 内は20名以上の場合

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を御提示いただいた方とその介助をされる方1名は観覧料が無料になります。

65歳以上の方で証明できるものを御提示いただいた方は無料になります。

小・中・高生は、土・日・祝日・振替休日、および冬休み期間は無料になります。大学生・一般は、祝日および振替休日の観覧料が無料になります。

8 関連行事

・展示解説

12月3日(土) 14時～14時45分、展覧会場

講師：担当学芸員、要観覧券

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、内容が変更となることがあります。

## 広報用画像

展覧会の広報用として次の作品の画像データを提供できます。使用にあたっては、「作者名」、「作品名」、当館蔵であることを明示してください。これ以外の画像もごぞいます。希望される場合は御相談ください。



作者名：高崎 剛  
作品名：窓辺の金魚鉢と娘(仮題)  
制作年：1928年  
技法材質：油彩 キャンバス  
所蔵：徳島県立近代美術館（鍋島直迪氏寄贈）



作者名：伊原宇三郎  
作品名：不詳（キンダーブック挿絵原画）  
制作年：不詳  
技法材質：油彩 キャンバス  
所蔵：徳島県立近代美術館